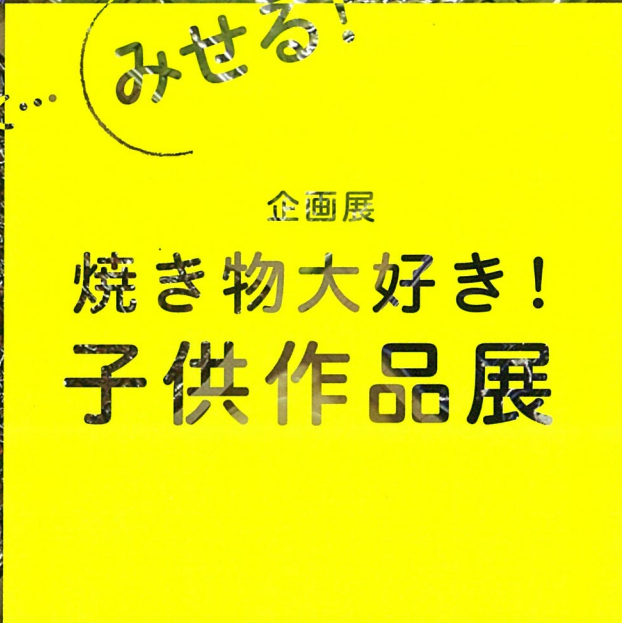
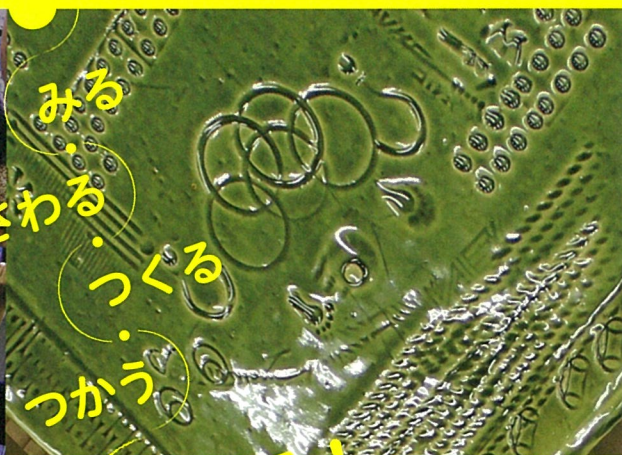




文化庁 平成28年度支援事業 21世紀鷹峯フォーラム 第2回<東京>「子供未来工芸プロジェクト」

みる・さわる・つくる・つかう・焼き物大好き!の未来世代育成プログラム -

企画展

焼き物大好き! 子供作品展

玉川大学教育博物館

2016年10月31日(月)~11月13日(日)

9:00~17:00 (入館は16:30まで)

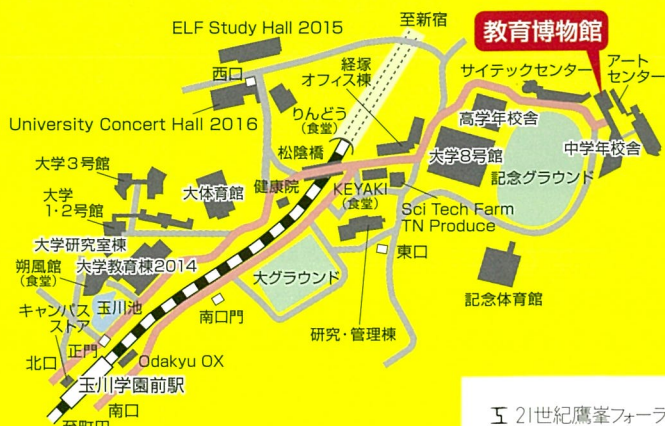
入館無料・会期中無休

【交通】小田急線「玉川学園前」駅下車 徒歩15分

【問い合わせ】042-739-8656 / museum@tamagawa.ac.jp (玉川大学教育博物館)

【主催】玉川大学芸術学部・玉川大学教育博物館 【共催】町田市立博物館 【支援】青少年育成玉川学園地区委員会 【助成】文化庁

玉川大学教育博物館 〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1 / www.tamagawa.jp



五 21世紀鷹峯フォーラム

東京 Tokyo

工芸を体感する100日間

玉川大学芸術学部・玉川大学教育博物館

文化庁 平成 28 年度支援事業 21 世紀鷹峯フォーラム 第 2 回 <東京> 連携
みる・さわる・つくる・つかう - 焼き物大好きな未来世代育成プログラム -

企画展

焼き物大好き！子供作品展

10月31日(月)～11月13日(日)

日本には、脈々と受け継がれてきた世界に誇れる工芸があります。これらは決して博物館でながめるだけのものではなく、人々の暮らしの中で息づき発展してきました。そして、未来を担う子供たちに、鑑賞者、作り手、あるいは使用者といった工芸のよき理解者として、作品に親しんでもらうことが、現代の課題となっています。「21 世紀鷹峯フォーラム」はこの課題を踏まえ、博物館、大学、関係機関等が連携して、工芸を「見る」「学ぶ」「考える」「体感する」など、さまざまなイベントを開催する工芸の祭典です。本学芸術学部と教育博物館は、文化庁支援事業として行われているこのフォーラムの「こども未来工芸プロジェクト」に参加し、陶芸をもとにした「工芸教育プログラム」を考案いたしました。



プログラムは、地域の小学生を対象に、「みる」「さわる」「つくる」「つかう」という陶芸作品にかかわるプロセスを体験してもらい、その成果発表として当館で展覧会「みせる」を開催するという内容になっています。参加者は応募された町田市立町田第五小学校・町田市立南大谷小学校・玉川学園 K-12 の 4 ～ 6 年生 19 名です。「みる」は 8 月 5 日に町田市立博物館で東南アジアや中国の陶器をもとに鑑賞学習を行いました。次いで 8 月 9 日に、当館で縄文土器、須恵器、明治期の陶磁器などに触れるハンズオン学習「さわる」と芸術学部陶芸教室で焼き物の器（皿）を制作するワークショップ「つくる」を実施しました。



展示では、「つかう」として各家庭で子供たちが制作した器に料理を盛りつけ、実際に使った様子を撮影した写真と器と一緒に並べて紹介いたします。本学が考案した教育モデルをもとに、子供たちが一連のプログラムで体験した成果を多くの方々にご高覧いただければ幸いです。



主 催：玉川大学芸術学部・玉川大学教育博物館 共 催：町田市立博物館
支 援：青少年健全育成玉川学園地区委員会 助 成：文化庁